



ファームウェアバージョン:	R2.03.B016	
ハードウェアバージョン:	DGS-1210-10P	A1/A2
	DGS-1210-16	A1
	DGS-1210-24	A1
	DGS-1210-48	A1
発行日:	2014/10/15	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

## 目次:

変更履歴とシステム要件:	2
アップグレード時の注意事項:	2
アップグレード手順:	2
追加機能:	7
修正した問題点:	7
MIB 及び D-View の変更点:	7
コマンドラインインターフェースの変更点:	7
既知の問題:	8

## 変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R2.03.B016	2014/10/15	DES-1210-10P	A1
		DES-1210-16	
		DES-1210-24	
		DES-1210-48	

## アップグレード時の注意事項：

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

## アップグレード手順：

ファームウェアアップグレードは、CLI (Telnet 経由)、WebGUI または SmartConsole ユーティリティから実行することができます。

### CLI(Telnet 経由)を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア（例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド）を使ってスイッチに接続します。  
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。  
例：telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。  
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。
4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download{firmware_fromTFTP tftp://ip-address/filename   cfg_fromTFTP tftp://ip-address/filename}	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及びブートコードバージョンを表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

## 5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

### (1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DGS-1210-16> download firmware_fromTFTP tftp://10.90.90.91/DGS-1210-16_A1_2_03_B016.hex
```

```
Device will reboot after firmware upgraded successfully
```

```
Image Updated Successful
```

※ スイッチへのファームウェアのダウンロードが正常に完了すると、自動的にスイッチが再起動します。

### (2) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

```
DGS-1210-16> show switch
```

System name	:
System Contact	:
System Location	:
System up time	: 0 days, 0 hrs, 16 min, 17 secs
System Time	: 24/01/2013 09:19:23
System hardware version	: A1
System firmware version	: 2.03.B016
System boot version	: 1.00.003
System Protocol version	: 2.001.004
System serial number	: QB2E1A2000002
MAC Address	: 00-26-5A-F0-2D-D7

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

### Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。  
デフォルトのシステム IP アドレス：10.90.90.90  
デフォルトのログインパスワード：admin
3. [Tools] メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。

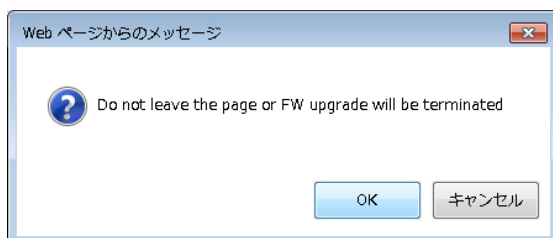
A screenshot of the 'Firmware Backup and Upgrade' web interface. The interface has a title bar with 'Safeguard' on the right. It features two radio buttons for selecting the protocol: 'HTTP' (selected) and 'TFTP'. Under the 'HTTP' section, there are two rows: 'Backup firmware to file' with a 'Backup' button, and 'Upgrade firmware from file' with a text input field and a '参照...' (Browse) button, followed by an 'Upgrade' button. Under the 'TFTP' section, there are two rows: 'TFTP Server IP Address' and 'TFTP File Name', each with a text input field. Below these are 'Backup' and 'Upgrade' buttons for the TFTP section.

**HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：**

- (1) [HTTP]を選択します。
- (2) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



- (4) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



- (5) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

- (6) ファームウェアアップグレードが完了すると、以下の画面が表示されます。デバイスの再起動完了後に、再度ログインを行ってください。



- (7) [Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

**TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：**

※TFTP を使用する場合、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [TFTP Server IP Address]に TFTP サーバの IP アドレス、[TFTP File Name]にファームウェアのファイル名を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- (4) 以下の画面が表示されるので、[Continue]ボタンをクリックします。



[Continue]ボタンをクリックすると、[Firmware Backup and Upgrade]画面に戻りますが、ファームウェアのアップグレードは継続されています。  
アップグレードが終了すると、スイッチは自動的に再起動します。

ファームウェアのアップグレードの経過を確認する際は、ご使用の TFTP サーバのログを確認し、アップグレードが終了したか否かを確認してください。

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

- (5) スwitchの再起動後に再度ログインし、Device Information 画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

## 追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R2.03.B016	DHCP リレーおよび DHCP ローカルリレー機能を追加致しました。

## 修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R2.03.B016	<ol style="list-style-type: none"> <li>SNMP で TFTP を使ったコンフィグ/ファームウェアの upload/download に応答しない問題を修正致しました。</li> <li>STP が無効の場合に、BPDU フレームを受け取ると他の VLAN に転送する問題を修正致しました。</li> <li>複数の VLAN をアサインしたポートで、StaticRouter ポートをいずれかの VLAN のみで設定した場合、マルチキャストテーブルをアップデートできない問題を修正致しました。</li> <li>稀に Ping、WebUI にアクセスできなくなることがある問題を修正致しました。</li> <li>LBD と LAG が有効なポートに、STP の ExternalCost が設定できない問題を修正致しました。</li> <li>リンクアップ/ダウン Trap で、間違った OID を使用していた問題を修正致しました。</li> <li>2 つの SNMP ホストを設定した場合、SNMP ホストが ARP テーブルから Ageout した後、2 番目の SNMP ホストに Trap を送信しない問題を修正致しました。</li> <li>重複した SNMP Trap を送信する問題を修正致しました。</li> <li>Telnet クライアントが Window サイズの Column もしくは rows に 0 を設定したリクエストを送信した場合、スイッチがクラッシュすることがある問題を修正致しました。</li> <li>System up time の Days で 2 ケタまでしか表示できなかった問題を修正致しました。</li> <li>SNMP でのポートスピードを取得した場合に値が間違っていた問題を修正致しました。</li> <li>OpenSSL の脆弱性に対する問題を修正致しました。</li> </ol>

## MIB 及び D-View の変更点：

ファームウェアバージョン	追加機能
R2.03.B016	特になし

## コマンドラインインターフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	追加機能
R2.03.B016	特になし

**既知の問題：**

ファームウェア バージョン	既知の問題点
R2.03.B016	<ol style="list-style-type: none"><li>1. QoS : Strict にキューハンドリングモードが設定され、輻輳が発生した場合、帯域は同じプライオリティを持ったイングレスフローに対し不平等に割り当てられる問題。</li><li>2. D-View Module : WebUI と D-View 間で情報が同期していないが機能には影響がない問題。</li><li>3. D-View Module : 同時に 4 つの LLDP パラメータを設定すると、設定が失敗する問題。 → 対処法 : WebUI で LLDP を設定してください。</li></ol>

**Copyright 2006-2014 D-link Japan K.K.**